



2024年12月12日
第101号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第4号

「南武線ワンマン運転について」に関する解明申し入れ 【全25項目】団体交渉を行う！⑦



9. 発車後に触車やドア挟みに気づかなかった時の責任の所在を明らかにすること。
【会社回答】事象が個別に異なることから、個別に対応することとなる。

組合

会社

☆駆け込み等に対する不安について

事象が発生した時の対応、会社がどのように対応するのか、不安の声がある。どのように対応されるのか認識を示すこと。

環境やその時の状況は違うので、**しっかり確認した上で総合的に判断する考えに変わりはない**。心配事があるというのは認識している。

具体的に言うと、車載モニターの映像範囲が狭い。**駆け込み乗車やベビーカーを挟まないか**といった不安がある。

駆け込み乗車等については駅の放送等で注意喚起や啓蒙活動を行っている。プラットホーム運動や事象ゼロ運動もやっているの、引き続きやっていきたい。

実際に、鶴見線でワンマン運転を始めると駆け降りも多い。ワイヤレスイヤホンをつけていて、時間差で降りるお客さまが多い。**トライアルをやっている方に聞くと「閉扉ボタンを押すために車載モニターから目線が一回下がる中でドアを閉扉する」「お客さまを挟まないか気にかける」という声を聞いているが、会社としてどのように聞いているのか。**

声としては把握している。中には、ボタンに照準合わせてやられている方もいるが、そこも習熟度が上がってくればコツを掴める。慣れは必要だと感じる。

☆ホームドアの性能について

ホームドアの性能について、ドア挟みで言うと荷挟まりで起動開始、荷物が外の状態で発車する可能性はあるのか。

ホームドアには**3Dセンサー等**を導入している。ベビーカーについても、**車両ドアの下から数センチは硬いゴム**を入れており、**戸挟み防止用のセンサー等**を入れているが、**100%防げるとは思っていない**。ただ、3Dセンサー等の導入で安全については向上させていると考えている。

具体的に、車載モニターで確認する時にホームドアより下は映像が映らない。あまり無いかもしれないが、ホームドアより上の荷挟まりについて、センサーは100%機能しないということではよいか。

ホームドアの上部はセンサーが無い。全体的な話をさせていただければ100%ではない。ホームドアの下は3Dセンサーを入れて見ている。

センサーが反応する範囲では荷挟まりは発生しない、発車できる条件にないということではよいか。

様々な条件があるので示せない。あくまでも、プラットホームの安全向上のためにというところでホームドアを設置している。

☆TIMSモニターでのドア閉扉操作に対する不安について

ドアの開閉について、TIMSモニターを見てタッチして開扉および閉扉が基本でよいか。

(TIMS画面のドア開扉および閉扉) ボタンを大きくデザインしている。当然、モニターを見るタイミングもある。様々なやり方があるので、工夫しながらやっていただきたい。**実際には「閉」を押して「確認」を押さないと動作しない。** 

一瞬、目線が切れてしまうのは仕方がないということではよいか。

確認すべきところは確認していただきながら作業していただく、という考え方である。

これまでのワンマン運転では物理スイッチを触りながら、目でモニターを見ながら体の感覚でスイッチを触ってやってきた。**南武線ではTIMSモニターで操作するのが基本だが、感覚が無いのでどうしても目線が切れてしまう**。その際に、「何か起こるのではないかと現場で不安の声が出ていることについて、気にかけていただきたい。

意見として承る。

TIMSモニターでのドア閉扉操作に不安があるので、**ワンマン運転開始後に不安が無いようにシミュレーター含めて訓練できる体制が必要だと考えている**。検討していただきたい。

意見として承る。

10. 車両ドア故障時および非連動運転の取り扱いについて明らかにすること。

【会社回答】ワンマン運転の実施に向けた各種取扱いについては、必要な教育・訓練を実施していく。

組合

会社

取り扱いについて、認識を示すこと。

「ワンマンでは最終列車や回送扱い等を除き、非連動運転を行わない」と標準集に謳われている。異常時の取り扱いの1つなので、定例訓練の中で今後周知が図られる。**ドア故障時についても変わるものではない**。引き続き、**区所の指導に基づき対応していただきたい**。

基本的に行わないという認識でよいか。

標準集に謳われている通りである。

次号⑧へ続きます。